

## 北海道立図書館資料収集計画

平成 25 年 2 月 28 日 館長決定

北海道立図書館はこれまでも、「北海道立図書館資料収集方針」に基づき「北海道立図書館資料収集計画」を定め、必要な蔵書を構築し、その期待される役割を将来にわたって安定的に果たしていけるよう資料収集に取り組んできた。

さらに平成 25 年度からは、「北海道立図書館事業推進計画」において新たに7つの施策目標を掲げ、その実現に向けて取り組むことにより北海道全体の図書館活動を支える拠点としての図書館を目指しているところである。

この計画は、その7つ目の施策目標「北海道全体の図書館サービスの向上を支えます～資料整備～」に基づき、平成 25 年度から平成 29 年度までの5年間において、北海道立図書館が行う資料収集の内容を表すものである。

図書館にとって資料は、現在及び将来のサービスの源である。地域を支える情報拠点として、各分野にわたり広範囲の資料を収集対象とするが、この計画では、今後5年間で特に重点として収集する分野について定めるものである。

なお、この計画は、社会情勢等の変化に即応するため、必要に応じ改訂するものとする。

### 1 重点分野

「北海道立図書館事業推進計画」の施策目標7「北海道全体の図書館サービスの向上を支えます～資料整備～」により、次の分野を重点として取り組む。

- (1) 課題解決型サービス・協力レファレンスに対応するための資料
- (2) 子どもの読書活動を推進するための資料
- (3) 図書館学関係資料
- (4) 障がい者サービス資料
- (5) 北方資料

### 2 購入による収集

#### (1) 図書

ア 課題解決型サービス・協力レファレンスに対応するための資料

(ア) 参考図書は優先して収集する。

(イ) 北海道の暮らしに関連し、市町村立図書館等や道民の関心の高い分野については、年度ごとにテーマを設定し、重点的に充実を図る。

・平成 25 年度：暮らしの支援（医療・健康、暮らしの法律、福祉、防災など、道民の生活と生命に関わる分野）

・平成 26 年度：仕事の支援（就業・起業・スキルアップ、産業など、北海道の経済の基盤となる分野）

・平成 27 年度：地域の活性化支援（まちづくり・人づくり、環境など、地域課題に関わる分野）

- ・平成 28 年度：暮らしの支援（特に教育・子育て関連の分野）
- ・平成 29 年度：仕事の支援（特に産業関連の分野）

#### イ 子どもの読書活動を推進するための資料

- (ア) 市町村活動支援事業で活用する資料を優先して収集する。
- (イ) 各種の受賞作品のほか、調べものに役立つ資料を優先して収集する。

#### ウ 図書館学関係資料

図書館づくりや図書館運営に役立てるための資料を優先して収集する。

#### エ 障がい者サービス資料

高齢者も利用できる大活字本を中心に収集する。

#### オ 北方資料

- (ア) 新刊書についてはもれなく収集する。
- (イ) 古書については、需要度の高いもの、資料価値の高いもの、入手が困難なものを優先して収集する。

### (2) 逐次刊行物

都道府県立図書館の平均購入タイトル数は約500タイトルであるが、当面、市町村立図書館等の収集状況を考慮しながら、学協会誌や業界誌、研究誌を優先して300 タイトルを目指し、各分野ごとの選定基準に照らして収集する。

### (3) 視聴覚資料

映像資料・録音資料は、北方資料と図書館学関係資料を収集する。マイクロ資料は、新聞の北海道内版を収集する。

## 3 寄贈による収集

団体・個人等からの寄贈について、今後も各資料選定基準に照らして収集する。

特に2-(1)-ア-(イ)において年度ごとの重点目標に定めた分野については、非流通資料についても情報の把握に努め、積極的に収集する。

さらに、北海道の資料センターとしての役割を果たすため、市町村立図書館等にはたらきかけ、除籍資料の受入れにも引き続き積極的に取り組む。

## 4 その他

### (1) メディア変換

原資料の保存と利用のため、マイクロ化やデジタル化を推進する。

### (2) 電子書籍

先進事例の調査及び収集の在り方を検討する。